

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和3年 6月 30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県西尾市丁田町五助 52 番地 1	
氏 名 ま る ひ建設 株式会社	
代表取締役 本多 淳	
電話番号 0563-54-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	まるひ建設 株式会社
事業場の所在 地	西尾市丁田町五助 52 番地 1
計画期 間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種 類	06 総合工事業
2 事業の規 模	元請完工工事高 6,300 百万
3 従業員 数	87 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 ——— 土木工事現場 ——— コンクリートガラ アスファルトガラ 建築工事現場 ——— 建築廃材 木材・鉄骨・プラスチック類 中間処理業者委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph LR A[処理統括責任者 安全管理部 部長] --- B[処理責任者 土木工事部 部長] A --- C[処理責任者 建築一部 部長] A --- D[処理責任者 建築二部 部長] B --- E[各工事現場] C --- E D --- E E --- F[下請] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	排出 量	3, 281 t	1, 517 t
	1. 廃棄物の保管場所の適正管理 2. 収集を分別しやすいように分離し最終再生率を向上させる 3. マニフェスト伝票の管理を徹底し、分別・再利用等の向上を図る		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
	排出 量	3, 000 t	1, 300 t
	1. 廃材をより少なくし、出さない工法を確立し廃棄物減少に努める 2. 講習会・研修会に積極的に参加し社内意識の高揚を図る		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	木屑、紙屑、金属屑、廃プラスチック類、硝子・陶器類屑等の再生可能な物の分別を徹底する		
②計画	同上		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設発生木材	紙屑
	排出 量	1, 127 t	83 t
	(これまでに実施した取組)		

	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設発生木材	紙屑
		排出 量	1, 000 t	60 t
		(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	1 現状			
	2 計画			

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
1	1 現状	【前年度（R2年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	繊維屑	建設泥土（汚泥）
		排出量	0.96 t	414.3 t
	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	繊維屑	建設泥土（汚泥）
		排出量	0.8 t	400 t
産業廃棄物の分別に関する事項				
1 現状				
2 計画				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	1 現状	【前年度（R2年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属屑
		排出量	177 t	131 t
		（これまでに実施した取組）		
	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属屑
		排出量	150 t	100 t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の分別に関する事項				
現状				
計画				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	1 現状	【前年度（R2年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	硝子・陶磁器屑	がれき類 ALC
		排出量	212 t	61t
		（これまでに実施した取組）		
	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	硝子・陶磁器屑	がれき類 ALC
		排出量	200 t	50 t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
1 現状				
2 計画				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
1	1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃石膏ボード
		排出 量	348 t	178 t
	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃石膏ボード
		排出 量	300 t	150 t
産業廃棄物の分別に関する事項				
	1 現状			
	② 計画			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	アスベスト	
		排出 量	13 t	
		(これまでに実施した取組)		
	② 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスベスト	
		排出 量	5 t	t
		(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	1 現状			
	② 計画			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

1 現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（R2年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1 現状	【前年度（R2年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ	
	全処理委託量	3,281 t	1,517 t	
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t	
	再生利用業者へ の 処理委託量	3,281 t	1,517 t	

		認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		型枠のそのまま再利用の促進 木屑、紙屑については分別を徹底し、処理業者の再資源化アップを推進する		

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（R 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設発生木材	紙屑
	全処理委託 量	1, 127 t	83 t
	優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	1, 127 t	83 t
	認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
①現状	【前年度（R 2 年度）実績】

		産業廃棄物の種類	繊維屑	建設汚泥
		全処理委託 量	0.56 t	414 t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	0.56 t	414 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（R2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属屑
	全処理委託 量	177 t	131 t
	優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t
	再生利用業者への 処理委託 量	177 t	131 t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t

--	--	--

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（Ｒ２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	硝子・陶磁器類	がれき類 ALC
	全処理委託量	212 t	61 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	212 t	61 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t

（第４面）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（Ｒ２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃石膏ボード
	全処理委託量	348 t	178 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	348 t	178 t

			処理委託 量		
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	①現状	【前年度（R 2 年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	アスベスト		
		全処理委託 量	13 t		t
		優良認定処理業者への処理委託 量	13 t		t
		再生利用業者への処理委託 量	t		t
		認定熱回収業者への処理委託 量	t		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t		t

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ
		全処理委託 量	3, 000 t	1, 300 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	3, 000 t	1, 300 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設発生木材	紙屑
		全処理委託 量	1, 000 t	60 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	1, 000 t	60 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

※事務処理欄		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	繊維屑	建設泥土（汚泥）
		全処理委託 量	0.8 t	400 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	0.8 t	400 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属屑
		全処理委託 量	150 t	100 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	150 t	100 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

※事務処理欄		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	硝子・陶磁器屑	がれき ALC
		全処理委託 量	200 t	50 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	200 t	50 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃石膏ボード
		全処理委託 量	300 t	150 t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	300 t	150 t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処	t	t

		理委託 量		
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	アスベスト	
		全処理委託量	5 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	5 t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

